

## バスケットアーカイブ機能についての説明

### ■アーカイブ機能の概要

- ① ストラテジーバスケットと、そのバスケットリザルト画像（一覧とグラフのみ）をサーバーに保存し、復元できる機能。
- ② ただし、復元時にはバックテスト結果の全てが復元される訳では無いので、詳細結果が必要な場合は再度バックテストを実行する必要がある。
- ③ アーカイブ ID には、日付と時刻（秒まで）がシリアルナンバーとして追加されるので、同じバスケット ID であっても、重複することなく結果保存が可能。（例：検証期間を変えたバックテスト結果を、それぞれ別に保存しておく）

### ■バスケットリストからアーカイブへ保存

- ① バックテストを実行しておく（バックテストを実行しないまま保存した場合、ストラテジーバスケットのみの保存となり、バックテスト結果は表示されない）
- ② 「アーカイブ保存」を押す
- ③ 「アーカイブの説明」の変更が必要であれば、アーカイブに保存する段階で行えるが、ここで加えた変更は、復元時には反映されない。復元時にはアーカイブ前に記述されていた概要が復元される（アーカイブで見るときだけの説明と理解して下さい）

### ■バスケットアーカイブ内での操作

- ① 「表示」ボタンを押すと、バックテストサマリーの画像が表示される
- ② 「バスケットリストに戻す」ボタンを押すと、バスケットリストに戻る
  - 同じバスケット ID が存在する場合は警告が出るので、上書きしない場合はバスケットリスト側の ID をコピー機能で変更する必要あり
  - ライトプランの場合、ストラテジーバスケットに登録できるストラテジー数は最大 15 個までなので、戻す際にはこれを超えないように事前に調整が必要。
- ③ ローカル PC にファイル保存が可能。新方式に変更：ストラテジーバスケット（拡張子 mbs）とバックテストサマリー画像（拡張子 png）の両方のファイルがダウンロードされるので、フォルダーを指定して保存する。パスワード設定も可能。
  - 圧縮ファイルではないので、戻す場合は「登録」でバスケットファイルを指定するだけで OK。圧縮ファイル形式にもこれまで通り対応。
- ④ ドラグ&ドロップで並び替えが可能
- ⑤ グループ単位での表示が可能
- ⑥ グループ、評価、アーカイブの説明は変更できない（アーカイブ時の状態のまま戻る）